

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

各 位

軽自動車検査協会  
業務部 電算管理室長

### 二次元バーコードの格納内容の変更のお知らせ

貴会におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。  
また、当協会の業務運営に日頃より、ご理解とご協力賜り厚く御礼申し上げます。  
この程、軽自動車の自動車検査証等に印刷された二次元バーコードの格納内容を以下の  
とおり変更するのでお知らせします。

1. 開始時期

平成 2 4 年 1 0 月 1 日（月）

2. 対象帳票

- （1）自動車検査証
- （2）限定自動車検査証
- （3）自動車予備検査証
- （4）自動車検査証返納証明書

3. 格納情報及び形式等

別紙「二次元バーコードの仕様」のとおり

4. 二次元バーコードへの暗号化

暗号化は行わない

5. 変更箇所（別紙中の網掛け部分）

- （1）コード2中、項番2「バージョン番号」

現在の設定値：”21” ⇒ 平成24年10月以降の設定値：”22”

- （2）コード2中、項番4「標板の枚数・大きさ」

現在の設定値：”1”～”8”

⇒ 平成24年10月以降の設定値：”1”～”8” 又は”A”～”H”

合計 3 個の二次元バーコードのうちの 1 個であるコード 2 中、  
項番 4「標板の枚数・大きさ」の設定仕様を変更し、希望番号  
か否かを判別可能とする。

【コード2】～抜粋～

【対象帳票】 平成24年10月1日以降に出力される自動車検査証等

現在の設定値：“21” ⇒ 平成24年10月以降の設定値：“22”

現在の設定値：“1”～“8” ⇒ 平成24年10月以降の設定値：“1”～“8” 又は“A”～“H”

[illegible]

## 二次元バーコードの仕様

## 1. 二次元バーコードの形式等

二次元バーコードの形式はQRコード（JIS-X-0510）とする。

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード1	1 (分割なし)	Q (25%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

## 2. 格納情報

二次元コード中、コード2・3については各項目の区切り文字として、半角スラッシュ（ / ）を格納する。

### 【コード1】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事
1	システム I D	固定	半角 1	“K” を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	“02” を設定する。
3	輸出整理番号	固定	半角 1 6	輸出予定届出証明書の場合、輸出整理番号を設定する。 その他の帳票の場合、空欄を設定する。
4	車両番号	固定	全角 1 2	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字（4 桁）＋分類番号（3 桁）＋かな文字（1 桁）＋一連番号（4 桁）の順に設定する。 （例）品川△△4 0△あ△△△ 1 ※小板の場合、分類番号＋標板文字＋かな文字＋一連番号の順に設定する。 （例）4 0△品川△△あ△△△ 1 ※予備検査証番号の場合、標板文字＋“△△△”＋かな文字＋一連番号の順に設定する。 （例）品川△△△△△ F△△ 1 2
5	車台番号	固定	半角 2 0	車台番号を設定する（左詰）。 （例）ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭 2 桁を [ ] で囲んだ値を設定する。
6	型式指定番号 類別区分番号	固定	半角 9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 （例）123451234 ※一般車の場合は、空欄を設定する。

△：全角スペース      ▲：半角スペース

【コード2】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事
1	システム ID	固定	半角 1	“K” を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	“22” を設定する。 ( 1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	車両番号	固定	全角 1 2	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字 ( 4 桁) + 分類番号 ( 3 桁) + かな文字 ( 1 桁) + 一連番号 ( 4 桁) の順に設定する。 (例) 品川△△40△あ△△△1 ※小板の場合、分類番号 + 標板文字 + かな文字 + 一連番号の順に設定する。 (例) 40△品川△△あ△△△1 ※予備検査証番号の場合、標板文字 + “△△△” + かな文字 + 一連番号の順に設定する。 (例) 品川△△△△△F△△12
4	標板の枚数・ 大きさ	固定	半角 1	標板の大きさ、枚数、および、字光/ペイント、一般払出番号/希望番号の組み合わせで設定する。  <div style="text-align: center;"> <u>設定値</u>                      :                      <u>分類</u> </div> 1 (希望番号の場合はA) : 中板・2 枚・ペイント 2 (希望番号の場合はB) : 小板・2 枚・ペイント 3 (希望番号の場合はC) : 中板・1 枚・ペイント 4 (希望番号の場合はD) : 小板・1 枚・ペイント 5 (希望番号の場合はE) : 中板・2 枚・字光 6 (希望番号の場合はF) : 小板・2 枚・字光 7 (希望番号の場合はG) : 中板・1 枚・字光 8 (希望番号の場合はH) : 小板・1 枚・字光 予備検査証番号および転入返納番号の場合、“-” を設定する。
5	車台番号	可変	半角 2 0	車台番号を設定する。 (例) ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭 2 桁を [ ] で囲んだ値を設定する。
6	原動機型式	可変	半角 1 2	原動機型式を設定する。 (例) TN360E ※職権打刻の場合、先頭 2 桁を [ ] で囲んだ値を設定する。 ※不明の場合、“*FUMEI” とする。 ※存在しない場合は、“-” とする。

7	帳票種別	固定	半角 1	出力帳票の種別を設定する。  設定値 : 帳票名 1 : 自動車検査証 2 : 自動車予備検査証 3 : 限定自動車検査証（その 1） 4 : 自動車検査証返納証明書
---	------	----	------	---

△ : 全角スペース      ▲ : 半角スペース

【コード3】

項 番	内 容	固定／ 可変	桁数 (バイト数)	記 事
1	システム I D	固定	半角 1	“K” を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	“31” を設定する。 ( 1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	車台番号 打刻位置	固定	半角 3	車台番号打刻位置をコードで設定する。 (例) 123 ※原簿ファイルに車台番打刻位置が設定されていない場合、” -▲▲ ” を設定する。
4	型式指定番号 類別区分番号	可変	半角 9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例) 123451234 ※一般車の場合は、設定しない。
5	有効期間 満了日	固定	半角 6	西暦下 2 桁＋月 2 桁＋日 2 桁で設定する。 (例) 090401 ※未設定の場合は、“999999” を設定する。
6	初度検査年月	固定	半角 4	西暦下 2 桁＋月 2 桁で設定する。 (例) 0904 ※未設定の場合は、“9999” を設定する。 ※月のみ未設定の場合は、西暦下 2 桁＋“99” を設定する。
7	型式	可変	半角 2 0	型式を設定する。 (例) TN360E ※試作車の場合、“*SHISAKU” とする。 ※試作車の場合（通常の型式の末尾につく場合）、型式＋ “*S” とする。 ※組立車の場合、“*KUMITATE” とする。 ※不明の場合、“*FUMEI” とする。 ※改造車の場合、型式＋“*K” とする。
8	軸重（前前）	固定	半角 4	軸重（前前）を設定する（1 0 k g 単位）。 (例) 0123 （1230kg） ※型式車の場合、諸元ファイルの前前軸重を設定する。 ※一般車の場合、原簿ファイルの前軸重を設定する（1 の位は切捨て）。 ※設定されていない場合は、“-▲▲▲” とする。
9	軸重（前後）	固定	半角 1	“-” を設定する。
10	軸重（後前）	固定	半角 1	“-” を設定する。

11	軸重（後後）	固定	半角 4	<p>軸重（後後）を設定する（10kg単位）。</p> <p>（例）0123      (1230kg)</p> <p>※型式車の場合、諸元ファイルの後後軸重を設定する。</p> <p>※一般車の場合、原簿ファイルの後軸重を設定する（1の位は切捨て）。</p> <p>※設定されていない場合は、“-▲▲▲”とする。</p>
12	騒音規制	固定	半角 2	“-▲”を設定する。
13	近接排気 騒音規制値	固定	半角 3	“-▲▲”を設定する。
14	駆動方式	固定	半角 1	“-”を設定する。
15	オパシメータ 測定車	固定	半角 1	“-”を設定する。
16	NOx・PM 測定モード	固定	半角 1	“-”を設定する。
17	NOx 値	固定	半角 4	“-▲▲▲”を設定する。
18	PM値	固定	半角 5	“-▲▲▲▲”を設定する。
19	予備項目	固定	半角 6	“999999”を設定する。

△：全角スペース      ▲：半角スペース



## 出力イメージ

[illegible]